

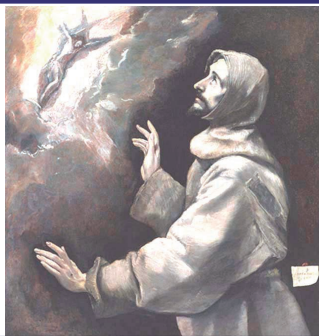


広報 なかわだ

第 415号

10月の予定

教会委員会	12日(日)
信徒の会 例会	19日(日)
子どもミサ、バザー	26日(日)



Saint Francis Receiving the Stigmata (El Greco, between 1585 and 1590)

2014年 10月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1

Tel/Fax (045) 803-6141

www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/

2014年10月5日



「居場所」をめぐって ～若い世代に期待するもの～

小野寺 功

ユーモア溢れる日野神父様が着任され、中和田教会も「開かれた教会」として軌道にのりつつあることは、信徒としても有り難いことです。

中和田教会も四十年の歴史を重ね、ようやく体制も確立し、聖堂も美しくととのい、新しい胎動すら感じられます。それは広報「なかわだ」の充実した編集の中にも反映されており、最近私はよく読むようになりました。

その中でも最近とくに大学生になりたての森脇留美さんの「居場所」という文章が目にとまり、強く心に残りました。

そこには「高校を卒業し、当たり前にあった学校という居場所をなくし、浪人した私にとって、家族と教会だけが変わらぬ居場所でありました」と書かれていて、家庭のほかに教会が居場所であったことが、とても嬉しく思われました。

しかし他方、現代社会からみると、教会は全く特殊な存在であり、同世代の人は皆リアリズムで、合理主義であり、宗教や信仰の話は全く通じないと、鋭く指摘されています。信仰をもつ若者は、この矛盾の中で悩み、模索しつつ歩んでいかねばなりません。

その時一番参考になり、道しるべになるのは、同じ信仰をもった先輩の意見のような気がします。その意味でも、六月号の武田幸子さんの「居場所を読んで」は、とくに留美さんの指摘された「現代社会に教会はどう映っているのでしょうか」という問いに答えたもので、私自身大変興味深く拝見しました。

日本のキリスト教は、お隣の韓国と違いなぜ国民の1パーセントを超えられないのでしょうか。武田さんはご自身の考えとして、四つの理由をあげられていますが、私もこの問題には深い関心があります。その理由は、福音は「日本人の心の琴線にふれる」ものでなければならぬと信じているからです。いつかこんな話題についても、世代をこえて、若い人たちと語り合いたいものですね。

最後に「教会の居場所」について考えるとき、私がよく思い出すのは、東原秀夫さんの晩年の姿です。

東原さんは、私の大学の先輩というだけでなく、中和田教会の体制づくりに大きく貢献された恩人の一人です。しかし役柄を離れ、晩年になられてからは、日曜日ごとに教会の玄関に立って、一人ひとりやってくる信徒と、丁寧に挨拶をかわしておられました。

自らは「下足番」と称しておられましたが、何年もこの仕事を天職のように続けておられたと思います。私はある時、「その仕事に何の意味がありますか」と尋ねたことがありました。東原さんの答えは「これによって教会のすべての信者の方を知り、出会えるのは大きな恵みです」というものでした。

東原さん自身は、晩年の自分のことを「聞けども聞こえず、見れども見えぬ」役立たずの年寄りだと自嘲気味に言っておられたことがありました。しかし今考えてみると、これが晩年の東原さんが、熟慮の上見出した「教会の居場所」だったことに気付かされました。

あの凜然とした古武士のような信仰の姿を、私は決して忘れることはないと思います。

日	曜	典 礼	ミ サ	備 考
3	金		初金ミサ (9:30)	
4	土	聖フランシスコ (アシジ) 記念日	祝日ミサ (9:30)	
5	日	年間第 27 主日	主日ミサ (9:00)	(ロザリオの祈り 1)
10	金		週日ミサ (9:30)	
12	日	年間第 28 主日	主日ミサ (9:00)	(ロザリオの祈り 2)、教会委員会
17	金		週日ミサ (9:30)	
18	土	聖ルカ (祝日)	祝日ミサ (9:30)	
19	日	年間第 29 主日	主日ミサ (9:00)	(ロザリオの祈り 3)
24	金		週日ミサ (9:30)	
25	土		主日ミサ (16:30)	(バザー準備)
26	日	年間第 30 主日	主日ミサ (9:00)	子どもミサ、(バザー)
31	金	年間第 22 主日	週日ミサ (9:00)	



要 理 グ ル ー プ 報 告

新学年になりメンバーが新しくなってから早いもので半年が過ぎました。そこで、これまでの大きな活動を簡単にご報告させていただきます。

5月18日（日）湘南白百合学園小学校で、第5地区教会学校合同の運動会が行われました。（参加児童11名）最初にミサがあったのですが、朗読や答唱詩編は子供たちが担当したりギターに合わせて歌を歌ったりと、手づくり感あふれるミサでした。続いて運動会では、玉入れ・綱引き・パン食い競争など様々な種目がありました。あらかじめ4つのチームに分けられていて、中和田教会の子供たちはバラバラだったのですが、他の教会の子供たちと力を合わせて競技をして一緒に喜んだり残念がったりする姿が見受けられ、交流がもててよかったと思います。帰りの電車で子どもたちに感想を聞いたのですが、「おもしろかった」「楽しかった」という言葉が多かったのもよかったです。



- | | |
|------------------------|-------|
| ◎ リー大変だった。 | あゆみ |
| ◎ 6カデ2位、楽しかった。 | はな |
| ◎ 玉入れ楽しかった（14こくらい） | かなこ |
| ◎ 赤は3位だったけど全力を出せて良かった。 | えみ |
| ◎ 新しいお友達とおしゃべりできた。 | いく |
| ◎ リーが楽しかった。（1位） | いき |
| ◎ 負けたらくやしかった。 | はるき |
| ◎ かけっこが楽しかった。 | ゆうたろう |
| ◎ 大玉ころがしが楽しかった。 | うん |
| ◎ リーが楽しかった。3位だけどがんばった。 | みのり |
| ◎ パン食い競争がんばった。 | マイリン |



次に、7月27日（日）中和田教会で夏季学校を行いました。（参加児童11名）子どもと共に捧げるミサの後、ビデオ（イエスさま誕生の際、東方からやってきた3人の博士たちのお話）を観てお勉強をしました。その後、日野神父様を交えて昼食をいただきました。（差し入れの甘いスイカをくださった方々、お気遣いに感謝いたします！）その後は自由遊びだったのですが、日蔭でシャボン玉を吹いたり、室内で折り紙を折ったり、各々好きなように遊んでいました。それからお掃除をしました。（小さな子も1人1枚雑巾を持って床をふいたのですが、端から端まで上手にふけました！）その後、お御堂でお祈りをしてお開きとなりました。



最後に8月8日（金）～10日（日）第5地区教会学校合同のサマーキャンプが山梨県の星美ホーム山中山林間寮で行われました。（参加児童4名）1日目はカレー作り・花火&ゲーム、2日目はお勉強・ミサ・班ごとにみんなで考えた劇の発表・キャンドルファイヤー、3日目はふりかえりの作文書き、と、盛りだくさんの内容で子どもたちは普段できないことをいっぱい体験して（少し成長して?!）帰ってきました。（リーダーとして子どもたちに関わってくださった井上さん、お疲れさまでした！ありがとうございました！！）

今後は11月に初聖体のお祝い、12月にクリスマスのだしものと活動は続きます。子どもたちにとって少しでも実り多いものとなるよう、親として関わっていきたいと思っています。

（森脇 彰子）

～ 中和田の風 ～

母の信仰を受け継いで ー お言葉どおり、この身になりますように ー

▲以前聖書の分かち合いで阿部寿美恵さんとお話しになった、お母様が洗礼を授かった経緯を詳しく伺いました。
一母が私たち6人兄弟姉妹の末弟を妊娠していた時は昭和18年、太平洋戦争がいよいよ激しくなっている頃でした。臨月でお腹が大きくなっているにも関わらず、組長として防空演習など率先して役目をこなしていたところ、無理がたたって妊娠中毒症になってしまいました。産気づき病院に運ばれた時には、腕や足は酷いむくみで腫れあがり意識も朦朧としていて、母子ともに助からないかもしれないと言われたそうです。とにかく帝王切開で赤ちゃんを取り出そうと手術台に寝かせられていた時、知らせを受けて駆け付けた母の女学校時代のクリスチャンの友人が母に洗礼を授けたそうです。するとお腹を切る直前に自然分娩で無事に弟が生まれ母も一命を取りとめました。その時手術台の回りにいた数人の医者や看護婦たちはとても驚いたそうです。

▲その後のお母様のことをお聞かせください。

一母は雙葉女学校の頃シスターたちに随分可愛がられた経験もあって、卒業と同時に洗礼を受けたかったのですが、その当時の風潮としてクリスチャンになれば縁談に差しさわりのないかと危惧する祖母の考えで洗礼は受けられなかったそうです。しかし友人から受けた洗礼のお恵みで奇跡のように無事出産できたと確信した母は退院後、自宅近くの神田教会で公教要理を勉強して改めて受洗し、その後は熱心に教会の集まりに通っていました。私はその頃高校生になっており、母のお供をして教会に通うようになっていました。親しみやすく親身になってくださる外国の神父様たちとの出会いの中で、ごくごく自然に受洗に至りました。

▲お母様の晩年のお話に重ねてご自分の信仰についてもお聞かせください。

一私たち兄弟は皆、結婚して家を離れ父も亡くなり、70才から亡くなる77才まで一人暮らしをしておりました。私たちに特別寂しいと不満を言うこともなく、毎週自宅から遠く離れた教会まで歩いて通っていたようです。また遠くに暮らす友人が一人暮らしになって病に倒れたと聞けば見舞いに行ったり、決して自分を甘やかすことなく、自分のことよりも人のことを考え気遣う母でした。特に私たちに教えを説くことはありませんでしたが、何よりも神に信頼して全てを委ね、何事にも動じない母の生きる態度に、私たち兄弟は感化されそれを受け継いでいるのだと思います。だからこそ私も毎週日曜日教会に来てご聖体を頂き、神が私の内にいてくださることを感じながら、例え体調を崩した時でさえ不安に思うこともなく前向きに一週間を過ごすことが出来るのだと思います。



▲大切にしている聖句はありますか？

ー「私は主のはしためです。お言葉の通りになりますように」

これは母が亡くなった時に棺に入れた聖句ですが、母の信仰を表す聖句だと思いますし、私もこの聖句がいつも自然に心に浮かびます。

信徒の会 9 月報告

9月21日、20名の方々のご出席を頂き、信徒の会を開催しました。委員会の状況報告に続き、そこで了承された委員、委員長の新しい選出方法について説明がありました。今月の広報にも掲載されていますので、御覧下さい。

次に前回の継続で教皇フランシスコの使徒的勧告『福音の喜び』の第三章「福音の告知」（聖書は福音宣教の源泉であり、神の言葉を聴き、黙想し、それを生き、祝い、証しする。基本的なメッセージは「神の愛」）をベースにした分かち合いを行いました。「無宗教という宗教」、神社で手を合わせることにについて等の話題も含め話し合いがはずみ、五章まで進める予定でしたが、三章だけで時間切れとなりました。

信徒の会に向けて各章の要約をお作り頂いた岩崎さん、御自身の教職での経験を交え貴重なお話しをしてくださった小野寺先生に御礼申し上げます。

（岩淵 英介）

第6回バザー実行委員会（9月28日）報告

バザー券の形状と賞品、ポスター、場所割り、食事・食品の数量と価格、被災地の品の委託販売内容、フリーマーケット、準備スケジュールの詳細等が最終決定されました。

バザー開始時間は10時50分。食事・食品も含め全て現金販売です。バザー券は10月5日から発売致します。テント設営等前日の準備は午後1時から、御ミサは4時半です。また前日・当日のバザー手伝い（奉仕）表を掲示致しますのでご記入・御協力下さい。



いよいよ最後の追い込みに入ります。皆様の御協力により楽しく有意義なバザーにしたいと、委員一同念願しております。宜しくお願い申し上げます。

（岩淵 英介）

敬老祝賀ミサ、そして祝賀会（９月１４日）

恒例の敬老祝賀ミサが捧げられ、引き続いて祝賀会が開催されて、参列者一同で喜びを分かち合いました。
ご準備頂いた行事Gの皆さん、そして祝賀会を盛り上げて下さった要理学校の皆さん、ありがとうございました。



2014年泉区民クリスマスのお知らせ

日時：2014年12月22日（月） 14:30～16:00

場所：泉公会堂

内容：宮の台幼稚園（ページェント）・YMCAいずみ保育園・YMCA山手台保育園アルク・連合聖歌隊、各教会からの出し物等になる予定です。

中和田カトリック教会では日野武満神父様がクリスマスメッセージをこころよくお引き受けくださいました。とても嬉しく思っております。

連合聖歌隊の練習日は以下の日程で15:00～16:30まで中和田教会聖堂にて行っています。

練習日：10月5日（日）、12日（日）、19日（日）、11月9日（日）、16日（日）、30日（日）、12月7日（日）、14日（日）

曲目：「久しく待ちにし」、「O HOLY NIGHT」、

「聖きみどり児」、「喜べや、讃えよや」

上記の練習日以外に中和田教会では第二・第四水曜日13:00～追加練習を行っています。発声から丁寧に指導頂いています。どうぞ一度お立ち寄りください。

尚 ポスターの原画を10月12日（日）まで募集しております。絵を描くことが好きな方どうぞ奮ってご応募ください。ご質問、ご意見などありましたら 宣教グループ泉区民クリスマス担当（石井悠子）まで

第23回湘南キリスト教セミナーのお知らせ

日時：2014年11月29日（土） 13:30～15:30

場所：カトリック大船教会

参加費：500円

定員：250名

講師：服部 剛

講師の服部剛さんは昨年5月から今年2月までカトリック新聞にダウン症を持つ息子、周（しゅう）ちゃんについての詩とエッセイを連載されました。

今回は「我が家に天使がやってきた」というテーマで講話と朗読のひとときを持っていただきます。現在服部さんは横浜詩人会理事、日本現代詩人会会員で日本人の心に響くイエスの福音宣教をめざし活動されています。

ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。

（井上 昭男）



横浜教区聖堂等の建替等のアンケート結果と 中和田教会建物の建替え費用について

教会委員長 上野 厚

1. アンケート結果について

昨年、72小教区に対し実施された見出しのアンケートの主な結果は次のとおりです。

①「建替え・修繕に取り組む体制」を組んでいるのは24教会（約3割強）である。

当教会は「建物を考える会」を組織しておりこれに該当します。24教会以外は体制を組んでおりません。

②「建替え・修繕資金の積み立て」に関しては、建設資金と修繕資金を一括積み立てしているのが最も多く26教会でした。当教会もこのやり方です。他は各資金を別個に積み立てている、或いは両方共に積み立てていないでした。

2. 教会建物の建替え費用について

横浜教区の試算によれば、現在と同規模の中和田教会建物の建替え費用は約1億3千万円となります。試算式は次のとおりです。

建物面積は約162坪あり、仮に建築坪単位を80万円とすると、80万円×162坪＝12,960万円となります。

3. 今後当教会が考えていかねばならぬ事

当教会は「建物を考える会」が組織されており、また各資金を一括積み立てしています。しかし、教区資産の建替え費用からすると各資金はまことに少額であります。当教会建物は築42年であり、今後最長20年位の間に建て替えることが不可欠であります。このためには建替え費用の積み立て方法を早急に考えねばなりません。皆様のご協力をお願い致します。

追記：各種ミサ謝礼について

追悼、葬儀、結婚式など各種ミサ謝礼については、総務係におたずねください。

委員会だより

(文中敬称略)

△9月13日(日) 11名出席▽

■日野神父様のお話

・7月から委員会がお休みでした。明日が敬老の日なので今日(土)に行います。宜しく願います。
中和田教会に来て、8月で4か月過ぎたのですが、とにかく暑くて2階は40度になりました。カーテンをしても、窓を開けても同じなのであきらめました。クーラーをするとかシャミが出るので、暑さ対策をインターネットで調べています。

■報告事項・その他

・9月3日の聖書研究会はなし。
・バザーの進捗状況
夏物衣料の販売(第二回目)は、6千円の売り上げがあった。

■各グループからの報告

・典礼(岩淵(英)1代理)
・典礼こよみ確認
・財務(甲斐)

・7月、8月の会計報告→8月に特別献金が12万5千円あった。
(個人献金と追悼ミサ謝礼)

●宣教(井上)

・リーダー会：サマーカーンプが8月8日、10日に星美ホーム山中林間寮で実施。子ども45名の参加があり、台風の影響もあったがスケジュール通りにできた。

・湘南キリスト教セミナー：11月29日(土) 大船教会講師は、服部 剛さん。
(ダウン症の息子への詩とメッ

セージをカトリック新聞に連載)

一粒会：9月23日に静岡サレジオ学園にて横浜教区一粒会大会を開催。12名参加。

・中高生会：中間テスト後の10月に開催を検討中。

・泉区民クリスマス：平日だが、12月22日(月)に決定。
内容は検討中。

●要理(裕)

・7月27日に夏季学校が行われた。小学生・幼稚園10名、乳幼児2名の計12名。
ビデオを見て、お昼を食べて楽しく過ごした。

・9月は、子供ミサはなし。敬老会で歌をご披露する予定。

●営繕・建物(日野神父様)

・急ぎの修理について(三重窓、台所エアコン・レンジフード、トイレ、エアコン、手すり)は、9月21日(日)に「建物を考える会」で検討して実施したい。

・神父様の風呂についても今後検討する。

●広報(武田(幸))

・原稿依頼(9月24日締切)

●福祉(楠田)

・ホームレス支援：戸塚教会に8月は、お米、野菜(かぼちゃ・冬瓜・たまねぎ・じゃがいも)、梅干しを届けた。9月は、お米、冬瓜、梅干しを届けた。

●総務(岩淵(英))

・地区割りの活用(委員・委員長の選出他)について、総務部で現状の課題と解決策を話し合った結果

が説明され、承認された。今後はこれをベースに臨時信徒大会で提案し、実行に移す。また、提案内容の要約を事前に10月の広報に掲載する。

●行事(岩淵(洋)・内藤)

・敬老の日の祝いは、ミサの中で、ご挨拶・記念品の贈呈を行う。ミサ後に、茶話会で子ども達の歌やコーヒールでおもてなしをする。

・12月のクリスマス会については、種々議論があったが、平日なので茶話会なしで、全員におみやげを配るとの結論となった。

■討議報告事項(上野)

・横浜教区から、聖堂等の建替え等についてのアンケート結果並びに現中和田教会と同規模の建替えの試算が届いた。広報でお知らせを出す。

・教会の玄関・勝手口が不用心なので、鍵の交換を行う。

・最近冠婚葬祭等やミサの謝礼についてご質問を頂くことが時々あるので、広報に総務に聞いて欲しい旨掲載する。

次回委員会 10月12日(日) 以上



地区割りの活用による委員・委員長の選出

中和田教会委員会

9月委員会で地区割りを活用した委員・委員長の選出方法について討議され、承認されました。臨時信徒大会（10/19頃）でのご説明に先立ち、広報に掲載させていただきます。

基本的考え方

- ・教会の仕事は奉仕であり、皆で協力して進めるべき。皆の教会なのだから！
- ・現状は、委員が固定化し、一部の人に任せておけば良いという雰囲気も。またベテランによる後進の育成も必ずしも十分とはいえない。
- ・これを打破するため、新たに地区割りを活用した委員の選出方法を導入する。
- ・これに合わせて極力教会の仕事内容の簡素化も進める。（誰でもできるように）

委員・委員長の任期

- ・各グループの委員：2年（典礼、財務、広報は3年）
- ・委員長：2年。重任は妨げないが、原則2年以上の間隔を空ける。
- ・メンバーの交代・改選は毎年半数ずつ（全員一括の交代は避ける）
- ・定年は設けないが、ご高齢の方には配慮する（ご本人の希望にもよるが）

地区集会の運営方法

- ・次年度の委員選出などのための地区集会を実施。全員出席を建前（参加できない方は委任状を提出）
- ・計画、招集、当日の議事進行、結果の周知などを地区役員が担当（地区役員は地区集会で選ぶが、最初は現在の委員会メンバーが担当）

具体的な選出方法

委員の選出（地区集会にて）

- ・あらかじめ全員に、「何を奉仕して下さいますか？」カードでいずれかの希望グループを登録しておいて頂く（財務、典礼、宣教、福祉等のグループ）
- ・登録カードをベースに、地区集会にて委員を選出（毎年半数ずつ交代）
- ・各グループ内で、代表者（委員会への出席者）を話し合いで決定。
- ・従来のベテラン委員は、顧問としてグループ内で指導。当初は委員会にも出席。

委員長の選出（委員会にて）

- ・委員会にて話し合いにより次期委員長を決定（決着が付かない場合は投票）

その他の係の選出（地区集会にて）

- ・行事委員を各地区2名選定する。任期1年。
- ・掃除当番を選定。任期2年、毎年半数ずつ交代。（金曜の掃除は無し。全て土曜）